

令和4年度 美唄養護学校 第1回学校評議員会

1 実施日 令和4年(2022年)7月20日(水) 10:00~11:00

2 場 所 北海道美唄養護学校 校長室

3 出席者 評議員4名 大山 祐太 (北海道教育大学 准教授)
高城 久美子 (北海道美唄養護学校 PTA 研修部長)
西川 一仁 (日本理化学工業株式会社 常務取締役)
林寺 隆憲 (社会福祉法人北海道光生会美唄学園 マネージャー)
学校 3名 校長、教頭、事務長

4 内 容(日 程)

- (1) 学校長挨拶 10:00~10:05
- (2) 委嘱状手交 10:05~10:10
- (3) 挨拶(運営) 10:10~10:13
- (4) 紹介(委員) 10:13~10:20
- (5) 議事 10:20~11:00

- ・説明 令和4年度学校経営計画(方針)について
コミュニティスクール(CS・学校運営協議会)の設置に向けて
- ・意見交換



5 評議員から学校への意見等

A 評議員	災害時は環境が変化し、児童生徒についても非日常的な環境での対応が求められる。万が一避難所での生活となった際他、災害時に向けて日常生活の中で取り組める具体的項目を保護者に周知していく必要がある。
B 評議員	子どもと保護者とで意識的に地域に出かけることで、地域住民の皆さんから声をかけてもらうことが増えた。地域の皆さんと交流が深まっている。そういう日々の取組で災害時も含めて何かあったときに気にかけてくださる方が増えるのではないかな。
C 評議員	ICT 機器を学習活動に使う際は、情報をインプットする活動が増えるが、得た情報や考えをアウトプットする機会を持つことも重要ではないかな。 コロナ禍ではあるが、特別支援学校の学習内容について地域住民に向けて積極的に周知をすすめ、学校活動への理解を深めてもらう必要がある。
D 評議員	学校等の連携をさらに深めたい。災害時に備えて、近隣でもあるので学校と合同避難訓練を行いたい。

※ 新型コロナウイルス感染症の拡大が予想されたため、基本的感染対策、時間を短縮して実施しました。